

小松市監査公表第1号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第199条第4項の規定による平成29年度定例監査を、都市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表する。

平成29年7月25日

小松市監査委員 小 栗 巖

同 杉 林 憲 治

定例監査結果報告書

- 1 監査対象部署 市民福祉部 市民課，小松駅前行政サービスセンター，
あんしん相談センター，南支所
- 2 監査実施日 平成29年6月16日
- 3 監査実施場所 監査委員室
- 4 監査の範囲 平成28年度の財務に関する事務及び事業の管理全般
- 5 監査の執行者 監査委員 小栗 巖
監査委員 灰田 昌典

6 監査の実施手続

あらかじめ必要と認めた事項を記した監査資料，関係する管理資料，申請書類及び執行手続書類並びに台帳等の提出を求め，事務局職員により，その内容の照合，検算，通査等の予備監査を行った。

また，監査当日は，市民福祉部長ほか関係職員の同席の下，課長及び所長，センター長から監査資料に基づき事務事業の執行状況等を聴取するとともに，質疑を交わした。

7 監査の着眼点

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が，関係法令に基づき適正かつ効率的，合理的に行われているかを主眼として，監査を実施した。

監査の主な着眼点は，次のとおりである。

- (1) 収入及び支出事務は関係法令等に基づき適正に行われているか。
- (2) 契約事務は関係法令等に基づき適正に行われているか。
- (3) 財産の管理は適正に行われているか。
- (4) 施設の維持管理は適正に行われているか。
- (5) 前回の監査で指摘した事項は適正に改善されているか。

8 監査の結果

次に記載する「意見・要望及び指摘事項」以外の予算執行状況，財産の管理状況，事務事業の管理状況，安全対策及び過年度指摘事項の項目については，おおむね良好に執行がなされているものと認められた。

また，細部指摘事項及び事務処理上にわたる注意事項については，監査の過程において当事者に指示したので本書には省略した。

(1) 意見・要望及び指摘事項

◆意見・要望

<市民課>

平成28年度末の小松市における個人番号カード取得率は約9%と，全国平均の約8%を上回っている。カードの利便性については，平成28年1月から住民票の写しなど各種証明書のコンビニ交付を開始し，今年度は，国が運営する個人用ポータルサイト「マイ

ナポータル」を活用したオンラインサービスが順次開始予定である。市としては、その動向を注視しながらカードの取得促進に努めているところである。

また、自主的に運転免許証を返納した高齢者の方にとっては、個人番号カードは公的な身分証明書として有効なものであるから、カードの普及を進めるにあたっては、市独自の市民サービスや他関係機関とも連携して相乗効果をもたらすような施策の展開を検討されたい。

定例監査結果報告書

- 1 監査対象部署 環境共生部 里山自然学校大杉みどりの里
- 2 監査実施日 平成29年6月16日
- 3 監査実施場所 監査委員室
- 4 監査の範囲 平成28年度の財務に関する事務及び事業の管理全般
- 5 監査の執行者 監査委員 小栗 巖
監査委員 灰田 昌典

6 監査の実施手続

あらかじめ必要と認めた事項を記した監査資料，関係する管理資料，申請書類及び執行手続書類並びに台帳等の提出を求め，事務局職員により，その内容の照合，検算，通査等の予備監査を行った。

また，監査当日は，環境共生部長ほか関係職員の同席の下，園長から監査資料に基づき事務事業の執行状況等を聴取するとともに，質疑を交わした。

7 監査の着眼点

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が，関係法令に基づき適正かつ効率的，合理的に行われているかを主眼として，監査を実施した。

監査の主な着眼点は，次のとおりである。

- (1) 収入及び支出事務は関係法令等に基づき適正に行われているか。
- (2) 契約事務は関係法令等に基づき適正に行われているか。
- (3) 財産の管理は適正に行われているか。
- (4) 施設の維持管理は適正に行われているか。
- (5) 前回の監査で指摘した事項は適正に改善されているか。

8 監査の結果

次に記載する「意見・要望及び指摘事項」以外の予算執行状況，財産の管理状況，事務事業の管理状況，安全対策及び過年度指摘事項の項目については，おおむね良好に執行がなされているものと認められた。

また，細部指摘事項及び事務処理上にわたる注意事項については，監査の過程において当事者に指示したので本書には省略した。

(1) 意見・要望及び指摘事項

◆意見・要望

<里山自然学校大杉みどりの里>

里山自然学校大杉みどりの里は，里山の活性化を目指して，環境王国こまつの豊かな自然環境資源を生かした教育事業の活用のほか，幅広い年齢層にも体験活動が行える機能を持つ施設として設置された。

施設を運営するにあたり経費がかかっていることから，企業研修の施設使用料の見直

しなど、収益の増収に繋げる方策がないかを検討されたい。また、稼働率にも意を用い、今年度のクロスカントリーコースの整備を機に、利用者側の立場に立った設備機能の充実を図り、年間を通し安定した施設運営となるよう努めていただきたい。